

第21回 高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会

「木材加工部門」実施要領および課題（案）

1 開催日時

令和4年6月10日（金）10:00～15:00

令和4年6月11日（土）8:30～16:30

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、短縮の可能性あり

2 競技会場

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 II類棟1階 建築系 木造実習室

3 競技日程【1日目】

受付 10:00 ～

受付：1階木造実習室前

① 健康観察・検温

※検温を行い37.5度以上と体調不良者は出場できません

② 作業エリア抽選

受付順で抽選を行う（選手は工具準備可）

③ 更衣

II類棟 男子：1F 材料実験室 女子：3F 更衣室

工具搬入等 ～ 10:30 工具・材料搬入（作業エリア，原寸図配布）

部門開会式 10:35 ～ 10:55

競技 11:00 ～ 12:00 原寸図（1h）：1階木造実習室

昼食 12:00 ～ 12:45 場所：

競技 13:00 ～ 14:00 柱くせどり（1h）：1階木造実習室

競技道具準備 14:00 ～ 15:00 2日目の道具準備 工具確認

審査 競技（柱くせどりが終わった選手から随時行う）

競技日程【2日目】

受付 8:30 ～

受付：1階木造実習室前廊下

健康観察・検温

検温を行い37.5度以上は出場できません

全体開会式 （未定）

競技 9:30 ～ 12:00 墨付け・加工・組立て（150分間）

片付け・清掃 12:00 ～ 12:30

昼食 12:30 ～ 13:15 ※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、帰校

審査 13:30 ～ ※ 状況次第で、後日賞状を郵送致します

閉会式 16:00 ～ 16:30

4 部門開閉会式 式次第

〈開会式〉

（閉会式）

・開式の言葉

・開式の言葉

・部門競技責任者 挨拶

・審査結果発表及び表彰

・競技上の注意

・審査員講評

・閉式の言葉

・閉式の言葉

5 出場資格・表彰

- ・出場資格：各学校で保護者承諾書を有し、鹿児島県大会・九州大会に参加できる者。
- ・事情があり、鹿児島県大会・九州大会に参加できない者は、審査・表彰の対象から外すが、リモート及びオープン参加してもよい。事務局へご相談下さい。
- ・競技出場者は、会場の可能な範囲内とする。エントリー数が多くなった場合は、下記の方法で調整する。
 - ① 建築部会を優先にする。
 - ② 各校の参加者数が均等となるようにする。
 - ③ 前年度最優秀賞校を優先として割り振る。
 - ④ 運営委員で検討をして、選手に不利益にならないように協議する。

上位から最優秀賞1名 優秀賞2名 優良賞3名として表彰する。ただし、エントリー者が10名を満たない場合は、エントリー数の半数を目処に表彰する。

- ・最優秀受賞者は、鹿児島県木材加工部門代表として、第22回高校生ものづくりコンテスト九州大会への参加をする。

6 責任者と審査員

木材加工部門	部門責任者	竹 下 兼 次 氏	霧島高等学校長
	審査員	赤瀬川 隆 樹 氏	赤瀬川建設株式会社 代表取締役
		上 村 大 作 氏	県立宮之城高等技術専門校 技術主査
		富 永 勝 弘 氏	鹿児島高等技術専門校 講師
	運営委員	建 築 部 会 員	各学校参加選手引率者1名

7 競技課題

鹿児島県大会については、技能検定 2級建築大工（大工工事作業）の課題の簡素化型とする。

8 材料の仕上がり寸法

部材名	仕上がり寸法 (幅×成) mm	部材名	仕上がり寸法 (幅×成) mm
天板	160×30	ぬき（正面）	60×30
柱	50×50	ぬき（左右）	60×30
半柱	47.1×30		

9 規定

技能検定 2級建築大工（大工工事作業）要項に準ずる。ただし、以下の内容は変更する。

- ・コードレスドリル（インパクトドリル）は使用しない。
- ・原寸図で使用する三角定規は、30cm程度までとする。
- ・木ごしらえ・ひと匏仕上げはしない。よって材料は、ふかし無しの仕上げ材料とする。
- ・墨消しはしない。
- ・作業台 (105 角×300)・削り台・原寸図用ベニアは各自持ち込むこととする。
- ・濡れタオルの持ち込みは可。水浸しは禁止とする。
- ・墨付けについて、原寸図から木材へ寸法を写すときのみ、鉛筆の使用を認める（点を打つ程度）
- ・原寸図への書き込みは可。
- ・製図課題が制限時間内に終了できなかった場合、翌日の木材加工は参加できる。二日目に原寸図の不備を気付いた場合は適宜原寸図を訂正して作業を進めて構わない。
- ・柱以外の材料は提出・検査は行わない。したがって、墨付け手順も任意とする。
- ・一寸曲尺は、まさかねとして認める。

10 その他

- ・組み立てが完了した生徒は、審査員に向かって手を上げ、大きな声で作業完了を申し出ること。
- ・作業完了後、完成作品に、選手自身がコート番号シールを貼り付ける。
- ・完成作品は、作業完了後に運営委員の指示に従い、選手自身が審査場所まで運ぶ。
- ・会場計時は、会場に常設されている壁掛け時計で行います。必要に応じて、各自でストップウォッチを持参して下さい。
- ・表彰においては、審査結果が同点の場合、全審査員による再審査を行う。運営委員は審査に関わらない。
- ・課題訂正については、随時連絡を行う。